

P-633'-1 (17)

**PROCESSING METHOD FOR PLANT**

**Patent number:** JP7025200  
**Publication date:** 1995-01-27  
**Inventor:** HORIUCHI SEIGO  
**Applicant:** HORIUCHI SEIGO  
**Classification:**  
**- International:** A01N3/00; B44C5/06; A01N3/00; B44C5/06; (IPC1-7): B44C5/06; A01N3/00  
**- european:**  
**Application number:** JP19930220440 19930708  
**Priority number(s):** JP19930220440 19930708

Report a data error here

**Abstract of JP7025200**

**PURPOSE:** To obtain a plant having a shape and a color near those natural state during a long period by charging a dehydrated plant in solvent obtained by heating to dissolve a specific amount of specific softener such as higher alcohol, etc., in solvent and leaving to stand it. **CONSTITUTION:** Substance having a melting point of 25 deg.C or higher is added to solvent with higher alcohol, higher carboxylic acid, higher carboxylic acid ester, higher carboxylate, and solvent solution of a concentration of 40W/W% or more is prepared. After softener having a solidifying point of 10 deg.C or lower is so added to the solution as to become a concentration of 0.05-30V/V%, the solution is heated to be dissolved, and uniform plant treating solution is prepared. A plant dehydrated with organic solvent is charged in the solution, the solution state is held, left to stand, the plant is then impregnated with the solution, then removed, and naturally dried. Thus, the plant is held in a natural state of its shape with no color change after drying and the plant in which pedals, leaves are not brittle but flexible is obtained.

---

Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平7-25200

(43) 公開日 平成7年(1995)1月27日

| (51) Int. Cl. <sup>6</sup> | 識別記号 | 庁内整理番号  | F I | 技術表示箇所 |
|----------------------------|------|---------|-----|--------|
| B 4 4 C 5/06               | B    | 9134-3K |     |        |
| A 0 1 N 3/00               |      | 9155-4H |     |        |

審査請求 未請求 請求項の数9 書面 (全 3 頁)

|           |                |
|-----------|----------------|
| (21) 出願番号 | 特願平5-220440    |
| (22) 出願日  | 平成5年(1993)7月8日 |

|          |   |
|----------|---|
| (71) 出願人 | 593164815<br>堀内 成悟<br>神奈川県座間市相模ヶ丘5丁目45番4号 |
| (72) 発明者 | 堀内 成悟<br>神奈川県座間市相模ヶ丘5丁目45番4号              |

(54) 【発明の名称】 植物の加工方法

(57) 【要約】

【目的】 脱水処理した植物に物質を浸透させたのち、乾燥させることにより、植物を長期間極めて自然な形状や色彩を保持できるようにした。

【構成】 脱水処理した植物に高級アルコール又は高級カルボン酸又は高級カルボン酸エステル又は高級カルボン酸塩の単品又は混合物に柔軟剤を加えた溶液を浸透後乾燥することからなる植物の加工方法

1

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 高級アルコール又は高級カルボン酸又は高級カルボン酸エステル又は高級カルボン酸塩で、25℃以上の融点の物質を単品又は混合物で40w/w%濃度以上を含有するように溶剤に加え、さらに柔軟剤として凝固点が10℃以下の物質を0.05v/v%濃度以上30v/v%濃度以下の範囲で添加したのち加熱溶解して均一な溶液状態にあるものを調製し、これに脱水した植物を投入し溶液状態を保持したまま放置し、植物に溶液を浸透させたのち取り出し乾燥させることを特徴とする植物の加工方法

【請求項2】 高級アルコールとして分子式中に10個以上の炭素原子を含有する1価アルコール又は2価アルコール又は多価アルコールである請求項1記載の加工方法

【請求項3】 高級カルボン酸として分子式中に10個以上の炭素原子を含有するモノカルボン酸又はジカルボン酸又はポリカルボン酸である請求項1記載の加工方法

【請求項4】 高級カルボン酸エステルとして請求項3記載の高級カルボン酸のエステルである請求項1記載の加工方法

【請求項5】 高級カルボン酸塩として請求項3記載の高級カルボン酸の塩である請求項1記載の加工方法

【請求項6】 高級アルコールとしてミリスチルアルコール、ステアシルアルコール、ノナデシルアルコール又はポリエチレングリコールである請求項2記載の加工方法

【請求項7】 高級カルボン酸として高級脂肪酸、ミリスチン酸、ペンタデシル酸、パルミチン酸又はステアリン酸である請求項3記載の加工方法

【請求項8】 高級カルボン酸エステルとして、高級脂肪酸と1価アルコールのエステル、ミリスチン酸グリセリンエステル、パルミチン酸グリセリンエステル又はポリエチレングリコールエステルである請求項4記載の加工方法

【請求項9】 柔軟剤として、脂肪酸エステル、カルボン酸エステル、アルコール、多価アルコール、不飽和脂肪酸、流動パラフィン、シリコン油、又はエチレングリコールである請求項1記載の加工方法

## 【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、自然の植物を加工し、花卉や葉や茎等を極めて自然に近い形状や色彩に保存し長期間観賞できるようにした植物の製造方法に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 従来、自然の植物を加工する方法としては、ドライフラワー等、自然乾燥により脱水したり、乾燥剤中に埋没させて乾燥する方法等があるが、色が退色したり形状が薄く偏平になったり又、乾燥ムラによって

2

変形がおりやすく自然の形状を維持できなかった。

又、有機溶剤で脱水した後、合成樹脂等を浸透する方法もあるが花卉や葉等の色が退色したり形状の変化等により、植物の形態を保ち色彩を長期間保持することは、技術上極めて困難であった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 上記のように従来の自然の植物の加工方法は、形状、色彩等自然に近いものとはいいがたいものである。

【0004】 本発明は従来法のような欠点がなく、さらに長期間にわたって極めて適切に自然に近い形状や色彩をもつ植物を製造する方法を提供することを目的としている。

【0005】

【課題を解決するための手段】 本発明は上記の課題を達成するために植物を有機溶剤で置換脱水したのち、高級アルコール又は高級カルボン酸又は高級カルボン酸エステル又は高級カルボン酸塩の単品又は混合物中に溶剤を加え、さらに柔軟剤を添加したのち加熱溶解し、均一に相溶した溶液中に植物を投入し、溶液状態を保持したまま放置し植物に溶液を浸透させたのち取り出し、自然乾燥又は熱風乾燥させることを特徴とする植物の加工方法である。

【0006】 すなわち、脱水処理した植物をこの溶液中に投入する事により、植物中にこの溶液が浸透し、乾燥後も長期間にわたって十分にその形状や色彩を極めて自然に近い状態に維持するものである。

【0007】 本発明では植物を有機溶剤に浸漬して脱水する。脱水しないと、加工後の形状の保持及び保存性が極めて悪くなる。有機溶剤としては、アセトン、プロピルアルコール、メチルアルコール、エチルアルコール又はジメチルホルムアミド等がある。

【0008】 つぎに、高級アルコール、高級カルボン酸、高級カルボン酸エステル又は高級カルボン酸塩で、25℃以上の融点の物質を単品又は混合物で40w/w%濃度以上を含有するように溶剤に加え、さらに柔軟剤として凝固点が10℃以下の物質を0.05v/v%濃度以上30v/v%濃度以下の範囲で添加したのち加熱溶解して均一な溶液状態にあるものを調製し、これに脱水した植物を投入し溶液状態を保持したまま放置し、植物に溶液を浸透させたのち取り出し、自然乾燥又は熱風乾燥させるものである。

【0009】 高級アルコール、高級カルボン酸、高級カルボン酸エステル又は高級カルボン酸塩の単品又は混合物に柔軟剤を加えた溶液は、植物の花弁、葉、茎等への浸透性が極めて良く、又、乾燥後の色の変化も少なく、形状も極めて自然の形態を保持し、花卉、葉、茎等も、もろくなく柔軟性のある極めて自然に近い植物が得られる。

【0010】 高級アルコール、高級カルボン酸、高級カ

ルボン酸エステル又は高級カルボン酸塩は植物に浸透、乾燥後高い温度により融けると色彩や形状を損う為、25℃以上の融点で分子量が多い物質が好ましい。高級アルコールとしては分子式中に10個以上の炭素原子を含有するアルコール、又は高級カルボン酸として分子式中に10個以上の炭素原子を含有するカルボン酸、又は高級カルボン酸エステルとして分子式中に10個以上の炭素原子を含有するカルボン酸の塩が好ましい。又、余り融点が高いと取り扱いにくい為25℃~150℃の範囲のものが好ましい。濃度としては乾燥後も自然の植物に極めて近い形状を保持できる濃度が良く、単品もしくは上記の混合物として40w/w%以上が必要であり、それ以下では形状等の保持は難しい。

【0011】高級アルコール、高級カルボン酸、高級カルボン酸エステル又は高級カルボン酸塩はその物質であれば良く、たとえば1価、2価又は3価アルコール、モノカルボン酸、ジカルボン酸、又はトリカルボン酸、モノエステル、ジエステル又はトリエステル等を問わない。高級アルコールとしては、ミリスチルアルコール、ステアリルアルコール、ノナデシルアルコール又はポリエチレングリコール等が好ましく、高級カルボン酸としては、高級脂肪酸、ミリスチン酸、ペンタデシル酸、パルミチン酸又はステアリン酸等が好ましい。高級カルボン酸エステルとしては、高級脂肪酸と1価アルコールのエステル、ミリスチン酸グリセリンエステル、パルミチン酸グリセリンエステル又はポリエチレングリコールエステル等が好ましい。

【0012】溶剤については、高級アルコール、高級カルボン酸、高級カルボン酸エステル又は高級カルボン酸塩を溶かす事のできる液体であれば良く、通常、有機溶剤が好ましく、アセトン、プロピルアルコール、メチルアルコール、エチルアルコール又はジメチルホルムアミド等を使用する。

【0013】高級アルコール、高級カルボン酸、高級カルボン酸エステル又は高級カルボン酸塩の単品又は混合物だけでは柔軟性に欠けもろくなる。そのため柔軟剤を添加する。柔軟剤は、通常の使用温度で植物の柔軟性が保持でき、植物となじみの良い物質で、揮発性が低く凝固点が10℃以下である物質であれば良く、添加量は本溶液中の0.05v/v%濃度以上30v/v%濃度以下の範囲であれば良く、その量はその植物の自然の柔軟

性等に合わせて配合するものである。たとえば、脂肪酸エステル、カルボン酸エステル、アルコール、多価アルコール、不飽和脂肪酸、流動パラフィン、シリコン油、又はエチレングリコール等が好ましい。

【0014】本溶液中に、防腐剤として防虫剤や防カビ剤等を添加する事によりカビ等がはえず長期間にわたって、極めて自然に近い形状や色彩をもつ植物が製造できる。

【0015】本発明で植物を有機溶剤に浸漬して脱水する工程で、有機溶剤にて脱水をおこない、その後染料を溶かした有機溶剤に浸漬する事により、思いどおりの色に植物を染めたのち加工する事により植物を好きな色にすることができる。

【0016】

【作用】本発明による植物の加工方法は、脱水した植物に物質を浸透させたのち、乾燥させることにより、植物を長期間にわたって極めて適切にその形状や色彩を自然に近い状態に維持するものである。

【0017】

【実施例1】杉の盆栽をプロピルアルコールに浸漬して脱水する。パルミチン酸50w/w%濃度、プロピルアルコール50w/w%濃度の割合で混合し、さらにエチレングリコールを10v/v%濃度添加したものを作成し、加熱溶解して均一に溶解し、75℃にする。その溶液中に脱水した杉の盆栽を投入し75℃を保持し、1時間浸け十分に浸透させたのち取り出し、そのまま自然乾燥して乾燥した杉の盆栽を得る。

【0018】

【実施例2】胡蝶蘭の花をプロピルアルコールに浸漬して脱水して硬化させる。ステアリルアルコール60w/w%濃度、プロピルアルコール40w/w%濃度の割合で混合する。さらにエチレングリコールを5v/v%濃度添加したものを作成し加熱溶解して均一にし70℃にする。その溶液中に胡蝶蘭の花を投入し70℃を保持し、30分浸けた後取り出し、そのまま乾燥して、乾燥した胡蝶蘭の花を得る。

【0019】

【発明の効果】本発明による植物の加工方法は、脱水処理した植物に物質を浸透させたのち乾燥させることにより、極めて適切に自然の植物としての形態や色彩等を長期間にわたって保持し、観賞用植物として充分な価値があり、しかも安価に製造できるものである。